



1-1 建物概要			1-2 外観		
建物名称	個人住宅		仕様等の確定状況	建物の仕様 持ち込み家電等 外構の仕様	確定 仮 仮
竣工年月	2020年2月	竣工	<備考>		
建設地	横浜市戸塚区舞岡町				
用途地域	第一種住居地域	確定			
省エネルギー地域区分	6地域				
構造・構法	木造	確定	評価の実施日	2019年8月3日	
階数	2		作成者	中西 一真	
敷地面積	280 m ²	確定	確認日	2019年8月4日	
建築面積	84 m ²	確定	確認者	大久保 瑞紀	
延床面積	165 m ²				
世帯人数	3	確定			



2-1 戸建の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.9

S: A: B+: B-: C:

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅（参照値）と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア = 3.4

Q1 室内環境を快適・健康・安心にする

Q1のスコア = 3.5

Q2 長く使い続ける

Q2のスコア = 4.1

Q3 まちなみ・生態系を豊かにする

Q3のスコア = 2.6

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギーと水を大切に使う

LR1のスコア = 4.4

LR2 資源を大切に使いゴミを減らす

LR2のスコア = 3.0

LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する

LR3のスコア = 3.6

3 設計上の配慮事項	
総合 現在駐車場の土地に新築計画。交通量の多い東道路の為、道路から離れを取り、騒音等避ける配置計画とした。深い軒と大きな壁面を作り、リズム感のあるサッシ配置ですっきり纏め、豊かな街並み形成に寄与。主要な居室は厚みのある挽き板フロアで、肌触りよく素材感を楽しめ、居心地に配慮した設計とした	その他 道路側の駐車スペースと建物間に植栽スペースを確保し、樹木の生長に伴い豊かな街並みを作る外構計画
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする 省エネ基準3地域準仕様とアルミ樹脂複合サッシにLOW-E複層ガラス(アルゴンガス入り)採用で冷暖房負荷の軽減。深い庇で日射調整への配慮。居間において南の大開口サッシより冬場の日差しを取り入れ暖房負荷の軽減を図る	Q2 長く使い続ける 地盤調査に基づく安全な基礎設計。オリジナルのピックアップ工法による高い耐震性と高耐久化。適切な床下通気と外壁通気による高い耐久性。給水、給湯、排水ヘッダーの採用により容易な維持管理
Q3 まちなみ・生態系を豊かにする 壁面を後退させてアプローチ空間を確保することにより、豊かな沿道空間を演出。壁面後退させた配置計画により周辺建物より突出させず、落ち着いたあるべき色と赤茶のタイルの外壁材で温かみのある街並み形成を図る	LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する 造成を行わず従前の地形をいかし、建物配置も道路から離れを取っている。
LR1 エネルギーと水を大切に使う 屋根に太陽光発電を搭載。照明はすべて省エネ、高寿命のLEDランプタイプを採用。省エネ基準達成率100%以上のガスコンロ採用。節水便器を採用	LR2 資源を大切に使いゴミを減らす 構造材、羽柄材にPC材を採用し現場での廃材を大きく低減。住友林業株式会社、ISO14001認証取得



4 横浜市重点項目についての環境配慮概要

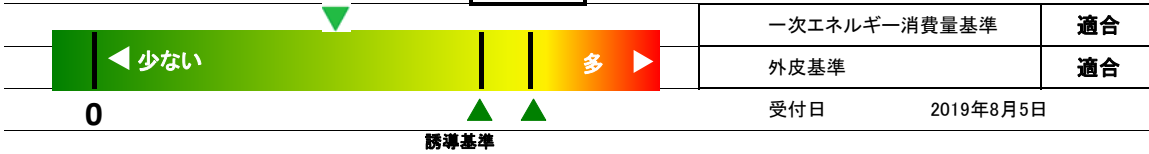
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。

建物名称 **個人住宅**

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 **5**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 45 %削減



■エネルギーを大切に使う (①建物の工夫 ②設備の性能 ③維持管理と運用)

- ①太陽光発電設備の採用
- ②電気便座・省エネ達成率100%以上のガスコンロの採用
- ③エネルギー管理でHEMS採用

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【健康・安心】 **5**

■室内環境対策 (④暑さ・寒さ)

◆断熱等性能等級 等級4 (相当)

④断熱等級4を超える水準

■室内環境を快適・健康・安心にする (⑤健康と安全・安心)

- ⑤ホルムアルデヒド対策において等級3を満たしている
- ⑤適切な計画換気システムが設置されている

■その他の対策 (⑥自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 **あり**

⑥1階ホールLDKにおいて、ウォルナット・チーク挽板フロアを採用

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防 災】 **5**

■災害に備える (⑦災害に備える ⑧長寿命に対する基本性能 ⑨地域の安全・安心)

- ⑦耐震等級(倒壊等防止)3を満たしている。耐震扉食器棚で食器の落下防止、寝室は作り付け収納で背の高い家具の設置無
- ⑧劣化対策等級3を満たしている。屋根、外壁材に30年の耐用年数の仕上げ材を採用
- ⑨見通しの確保により防犯性の向上

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 **2**

■まちなみ・生態系を豊かにする (⑩まちなみ・景観への配慮 ⑪生物環境の創出)

- ⑩造成を行わず従前の地形をいかし、建物配置も道路から離れを取っている。
- ⑪道路側の駐車スペースと建物の間に植栽スペースを確保し、樹木の生長に伴い豊かな街並みを作る外構計画

太陽光発電などの導入



太陽光利用

エネルギーマネジメントシステム導入

HEMS

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

燃料電池 ・ コージェネレーション ・

CASBEE 横浜 [戸建] | 評価結果 | 31-071



CASBEE横浜[戸建] (2017年版)
個人住宅

バージョン : CASBEE横浜[戸建]2017年版v.1.0

スコアシート				
配慮項目	重点項目	評価点	重み係数	全体
QH すまいの環境品質		-	-	3.4
QH1 室内環境を快適・健康・安心にする		-	0.45	3.5
1 暑さ・寒さ		3.5	0.50	3.5
1.1 基本性能		4.6	0.50	-
1 断熱等性能の確保	健康・安心	5.0	0.80	-
2 日射の調整機能	健康・安心	3.0	0.20	-
1.2 夏の暑さを防ぐ		2.0	0.25	-
1 風を取り込み、熱気を逃がす		1.0	0.50	-
2 適切な冷房計画		3.0	0.50	-
1.3 冬の寒さを防ぐ		3.0	0.25	-
1 適切な暖房計画		3.0	1.00	-
2 健康と安全・安心		3.2	0.30	3.2
2.1 化学汚染物質の対策	健康・安心	5.0	0.25	-
2.2 適切な換気計画	健康・安心	3.0	0.25	-
2.3 犯罪に備える	健康・安心	1.0	0.25	-
2.4 災害に備える	防災	4.0	0.25	-
3 明るさ		5.0	0.10	5.0
3.1 屋光の利用		5.0	1.00	-
4 静かさ		3.0	0.10	3.0
QH2 長く使い続ける		-	0.30	4.1
1 長寿命に対する基本性能		4.3	0.50	4.3
1.1 躯体	防災	5.0	0.30	-
1.2 外壁材		3.0	0.10	-
1.3 屋根材、陸屋根		3.0	0.10	-
1.4 自然災害に耐える	防災	5.0	0.30	-
1.5 火災に備える		3.7	0.20	-
1 火災に耐える構造		3.0	0.65	-
2 火災の早期感知		5.0	0.35	-
2 維持管理		5.0	0.25	5.0
2.1 維持管理のしやすさ		5.0	0.65	-
2.2 維持管理の計画・体制		5.0	0.35	-
3 機能性		3.0	0.25	3.0
3.1 広さと間取り		4.0	0.50	-
3.2 バリアフリー対応		2.0	0.50	-
QH3 まちなみ・生態系を豊かにする		-	0.25	2.6
1 まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり	3.0	0.30	3.0
2 生物環境の創出		1.0	0.30	1.0
2.1 敷地内の緑化	地域・まちづくり	1.0	0.65	-
2.2 生物の生息環境の確保	地域・まちづくり	1.0	0.35	-
3 地域の安全・安心	防災	4.0	0.20	4.0
4 地域の資源の活用と住文化の継承		3.0	0.20	3.0
LRH すまいの環境負荷低減性		-	-	3.6
LRH1 エネルギーと水を大切に使う		-	0.35	4.4
1 総合的な省エネ		4.8	0.75	4.8
1.1 躯体と設備による省エネ	省エネルギー性能	5.0	0.90	-
1.2 家電・厨房機器による省エネ	省エネルギー性能	3.0	0.10	-
2 水の節約		3.0	0.15	3.0
2.1 節水型設備		3.0	0.75	-
2.2 雨水の利用		3.0	0.25	-
3 維持管理と運用の工夫		3.5	0.10	3.5
3.1 住まい方の提示	省エネルギー性能	3.0	0.50	-
3.2 エネルギーの管理と制御	省エネルギー性能	4.0	0.50	-
LRH2 資源を大切に使いゴミを減らす		-	0.35	3.0
1 省資源、廃棄物抑制に役立つ材料の採用		2.2	0.60	2.2
1.1 構造躯体		3.0	0.30	-
1 木質系住宅		3.0	1.00	-
2 鉄骨系住宅		-	-	-
3 コンクリート系住宅		-	-	-
1.2 地盤補強材・地業・基礎		3.0	0.20	-
1.3 外装材		1.0	0.20	-
1.4 内装材		1.0	0.20	-
1.5 外構材		3.0	0.10	-
2 生産・施工段階における廃棄物削減		4.6	0.30	4.6
2.1 生産段階(構造躯体用部材)		5.0	0.33	-
2.2 生産段階(構造躯体用以外の部材)		4.0	0.33	-
2.3 施工段階		5.0	0.33	-
3 リサイクルの促進		3.0	0.10	3.0
3.1 使用材料の情報提供		3.0	1.00	-
LRH3 地球・地域・周辺環境に配慮する		-	0.30	3.6
1 地球温暖化への配慮		5.0	0.33	5.0
2 地域環境への配慮		3.0	0.33	3.0
2.1 地域インフラの負荷抑制		2.0	0.50	-
2.2 既存の自然環境の保全		4.0	0.50	-
3 周辺環境への配慮		3.0	0.33	3.0
3.1 騒音・振動・排気・排熱の低減		3.0	0.50	-
3.2 周辺温熱環境の改善		3.0	0.50	-